

平成26年度 首都大学東京大学院人間健康科学研究科

博士前期課程 入学試験問題（夏季）

作業療法科学域

小論文

試験時間 10：30～12：00 90分間

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 問題は4問、問題冊子は3ページです（表紙、白紙を除く）。
3. 試験中に、問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合には、手を挙げて監督員に知らせてください。
4. 解答用紙の所定欄には、監督員の指示に従って、受験番号・氏名を記入してください。
5. 解答は解答用紙の解答欄に記入し、解答用紙の余白や裏面には記入しないでください。
6. 問題冊子の余白及び挿入されている白紙は適宜使用して結構ですが、どのページも切り離してはいけません。
7. 試験終了まで退室はできません。
8. 解答用紙は必ず提出してください。問題冊子は持ち帰ってください。

平成26年度 作業療法科学域・小論文

次の資料は、「介護支援専門員と作業療法士との連携の効果および課題の検討事業」の中で、介護支援専門員を対象に行ったアンケートの趣旨と結果である。この資料を読んで下記の質問に答えなさい。

介護支援専門員アンケート（資料）

1, 本事業の目的

介護支援専門員（以下、ケアマネ）と作業療法士との連携の効果および課題を検討する。具体的には、ケアマネが在宅要介護者の自宅を定期訪問する際に、作業療法士が同行訪問して要介護者の評価を行う。そして、作業療法士はケアマネに生活機能向上に資する情報を書面（OT報告書）で報告する。この以上の方法による連携成果について検証する。

2, アンケートの対象者

本事業への協力に同意した東京都内のケアマネ59名。実際に同行訪問できたケアマネを“介入群”，アンケートのみに協力した者を“参考群”とする。

3, 結果

（1）対象者の保有資格と経験年数

表1 保有資格

資格名	介入群	参考群
介護福祉士	25	21
ヘルパー1級	2	1
あん摩マッサージ指圧師	2	0
社会福祉士	1	0
ヘルパー2級	1	0
歯科衛生士	1	0
福祉用具専門相談員、ヘルパー2級	1	0
無回答	2	0
合計	35	24

表2 ケアマネの経験年数

経験年数カテゴリ	介入群	参考群
2年未満	8	13
2～4年未満	12	5
4～6年未満	7	1
6～8年未満	3	4
8～10年未満	2	0
10年以上	3	1
合計	35	24

（2）ケアマネジメントに関する自己評価

ケアマネジメント能力を問う7つの質問（表3の①～⑦）を行った。なお、介入群については、同行訪問を行う前と後の2回、実施した。

表3 ケアマネジメントに関する自己評価

設問	訪問前・訪問後・参考群	まったくできなかった	どちらかというときなかった	どちらかというときよくできた	よくできた	合計
①対象者の体や心の状態の把握	訪問前(n=32)	0.0%	34.4%	56.3%	9.4%	100.0%
	訪問後(n=31)	0.0%	3.2%	67.7%	29.0%	100.0%
	参考群(n=24)	0.0%	4.3%	73.9%	21.7%	100.0%
②当面必要な支援の立案	訪問前(n=32)	0.0%	37.5%	59.4%	3.1%	100.0%
	訪問後(n=32)	0.0%	6.3%	65.6%	28.1%	100.0%
	参考群(n=24)	4.3%	0.0%	73.9%	21.7%	100.0%
③将来を見越した支援の立案	訪問前(n=31)	0.0%	51.6%	45.2%	3.2%	100.0%
	訪問後(n=31)	0.0%	16.1%	61.3%	22.6%	100.0%
	参考群(n=24)	0.0%	22.7%	63.6%	13.6%	100.0%
④他職種との連携	訪問前(n=32)	0.0%	28.1%	62.5%	9.4%	100.0%
	訪問後(n=32)	0.0%	6.3%	68.8%	25.0%	100.0%
	参考群(n=24)	4.3%	13.0%	56.5%	26.1%	100.0%
⑤ケアプラン立案の達成(充実感)	訪問前(n=30)	0.0%	46.7%	50.0%	3.3%	100.0%
	訪問後(n=27)	0.0%	25.9%	59.3%	14.8%	100.0%
	参考群(n=24)	4.3%	39.1%	39.1%	17.4%	100.0%
⑥生活環境の把握	訪問前(n=32)	0.0%	18.8%	71.9%	9.4%	100.0%
	訪問後(n=30)	3.3%	3.3%	70.0%	23.3%	100.0%
	参考群(n=24)	0.0%	13.0%	56.5%	30.4%	100.0%
⑦対象者の生活目標を明確にする	訪問前(n=31)	0.0%	51.6%	41.9%	6.5%	100.0%
	訪問後(n=30)	0.0%	16.7%	60.0%	23.3%	100.0%
	参考群(n=24)	0.0%	34.8%	52.2%	13.0%	100.0%

(3) 作業療法士が提供した情報の価値

質問 [OT報告書に記載のあった情報 (図1の①～④) は既にご存知でしたか]

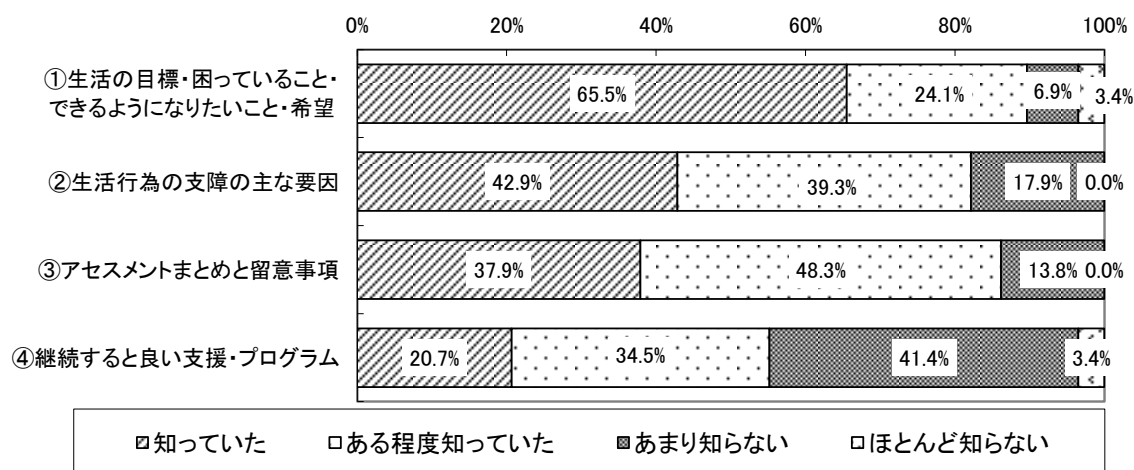


図1 OT報告書の記載内容についての認知度

質問「OT報告書に記載のあった情報（図1の①～④）はケアプラン立案の参考になりますか。」

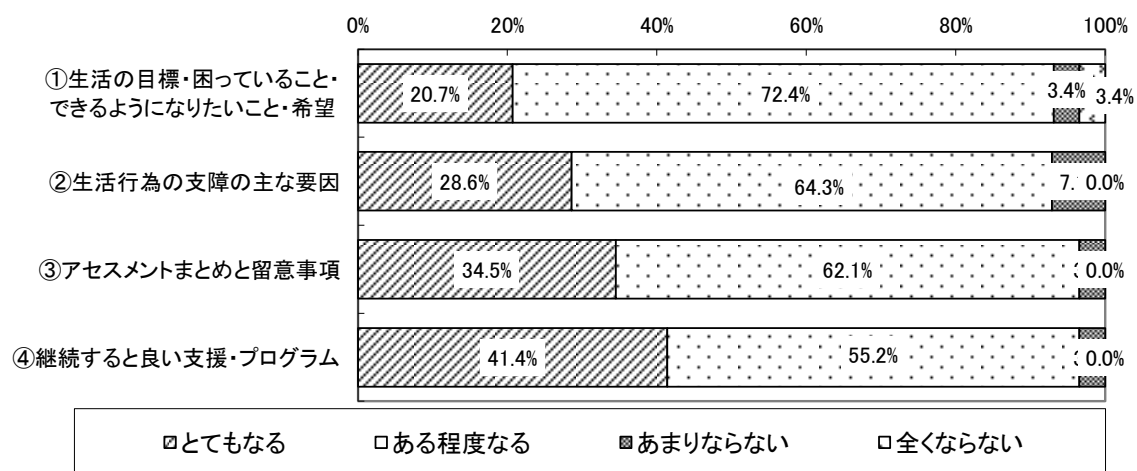


図2 OT報告書の記載内容はケアプラン立案の参考になるか

出典：H24年度老人保健健康増進事業「生活行為向上の支援における介護支援専門員と作業療法士との連携効果の検証事業」。日本作業療法士会，2013。

問1 『(2) ケアマネジメントに関する自己評価』についての“結果”を250文字程度にまとめて書きなさい。

問2 同行訪問によって「ケアマネのケアマネジメントに関する自己評価」はどのようになったと言えるのか、参考群のデータも踏まえて簡潔に考察しなさい。

問3 『(3) 作業療法士が提供した情報の価値』について、アンケート結果を踏まえて400字以内で考察しなさい。

問4 介護保険制度は財政的な危機により大幅な見直しが必要とされています。この課題に対し作業療法士はどのように貢献できる可能性があるか、あなたの考えを600字程度で書きなさい。